

Ⅱ 相談の特徴

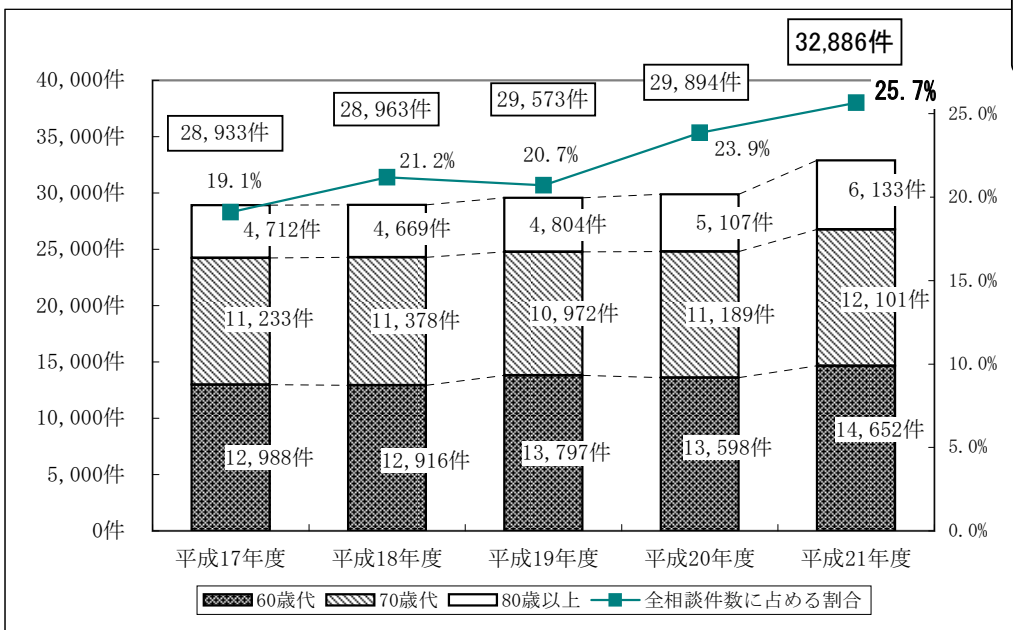
1. 世代でみると

(1) 高齢者の相談<契約当事者が60歳以上である相談>

(「平成21年度消費生活相談概要」42頁～43頁)

- ① 高齢者の相談件数は32,886件で、前年度に比べ10.0%増加し、過去最高となった。全相談件数に占める割合も増加しており、平成21年度は全体の4分の1を上回った。年代別では、どの年代も前年度より増加しているが、特に「80歳以上」の増加の割合が大きい。平均契約金額は267万円と、相談全体の金額171万円と比較して高額となっている。(図-2)

【図-2】高齢者の相談件数の推移



高齢者相談の平均契約金額は267万円。相談全体(171万円)より高額

- ② 高齢者の相談を商品・役務別にみると、「放送・コンテンツ等」、「融資サービス」、「預貯金・証券等」などが多くなっている。(表-2)

【表-2】高齢者の相談の商品・役務分類 上位5位(平成21年度)

	商品・役務分類	件数	主な項目
1	放送・コンテンツ等	2,081	インターネットを利用した架空・不当請求、ケーブルテレビ・地上デジタル放送等
2	融資サービス	2,038	借金による多重債務、金利・利息等
3	預貯金・証券等	1,953	株、預貯金、公社債等
4	レンタル・リース・貸借	1,641	賃貸アパートの修理費や敷金等の返金等
5	工事・建築・加工	1,533	増改築工事、屋根工事、塗装工事等